

令和3年度 保育士等の働きやすい職場づくり事業 実施報告書【催事】

目次

1. 保育者のためのスキルアップセミナーの開催	1
2. 潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催	11
3. 事業総括と次年度に向けた計画（案）	20

株式会社サンロフト

令和4年3月31日

1-1.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

1) 保育者向けスキルアップセミナーの概要

若手・中堅・管理職の対象別に、参加者同士が情報交換をしながら、職場づくりに関する視野を広げ、多様な解決策を知る場として、3日間のセミナーをオンラインで企画・運営した。テーマは、保育者が長く働ける環境づくりや採用戦略、保育者のキャリアイメージの描き方や後輩の育成方法などで、講師のナビゲートのもと、藤枝市内で働く保育者が抱える悩みや園の課題をシェアし、保育者が働きやすい職場を実現するための道筋を対象別に学ぶ構成とした。

開催日	【若手職員】2022年1月28日（金）、 【中堅職員】2022年2月2日（水） 【管理職】2022年2月3日（木） 13:30～16:30（受付 13:00～）
開催場所	BiViキャンまたはオンライン（Zoomミーティング） ※当初BiViキャンとZoomのハイブリット形式での開催予定であったが、コロナ感染状況拡大のため参加者はオンラインのみとなった ※ホスト会場は、BiViキャン
対象	藤枝市内の幼稚園・保育園・こども園等で働いている保育者の皆さま、管理職の皆さま
定員	50名 ※BiViキャンの定員
参加費	無料
テーマ	みんなで働き続けられる職場をつくろう 保育者向けスキルアップセミナー
講師	黒澤 祐介 先生 大阪青山大学 健康科学部 子ども教育学科 准教授 大阪保育研究所 保育士の働きやすさ研究会 代表。 専門は社会福祉学、保育学。保育カンファレンスや 保育者の同僚性の形成を研究している。 
集客	チラシを制作し、市内の園に配付するとともに、メールでも案内した。
プログラム	13:30～ 開会・主催者挨拶・趣旨説明 13:40～ 黒澤先生の講義 15:00～ 休憩 15:10～ ワークショップ 15:40～ 全体シェア 黒澤先生の総評 16:15～ アンケート・連絡事項 ※状況に応じて調整しながら進めた。

1-2. 保育者のためのスキルアップセミナーの開催

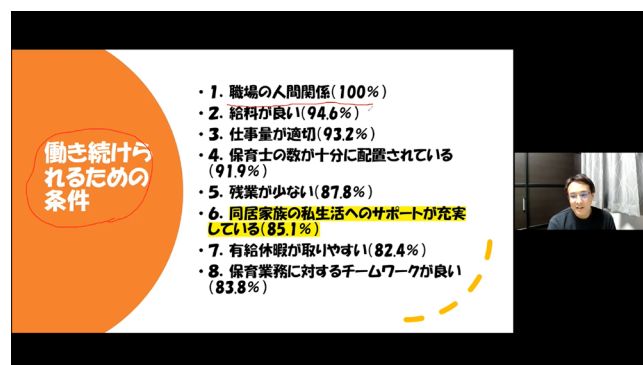
セミナーのテーマとしては「みんなで働き続けられる職場をつくろう」を掲げ、若手、中堅、管理職がそれぞれの立場から主体的に考える場を目指した。

◆ 若手職員向け

タイトル：「私らしいキャリアイメージの描き方」

講座概要：

保育者としてのキャリア形成とは何か？
子どもとの関わりや自分の保育の振り返り、私生活と仕事のバランスといった若手保育者の悩みに対し、保育者として成長し、かつ安心して働き続けるために大切にしたいことを共有した。

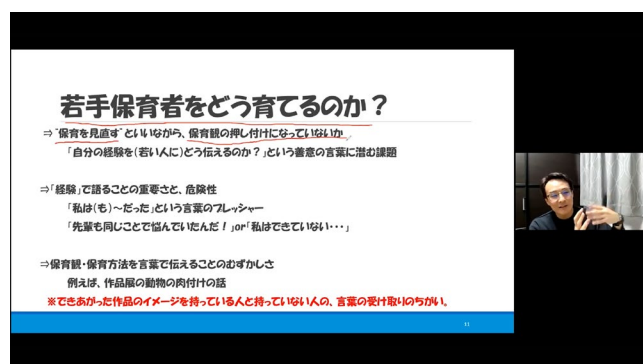


◆ 中堅職員向け

タイトル：「育成力を高めるコミュニケーション」

講座概要：

若手保育者が自ら育つしくみとは？「同僚性」を育てる保育カンファレンスを例に、若手とのコミュニケーションや中堅職員に求められるリーダーシップについて解説。各園の課題や解決のための取り組みをシェアした。

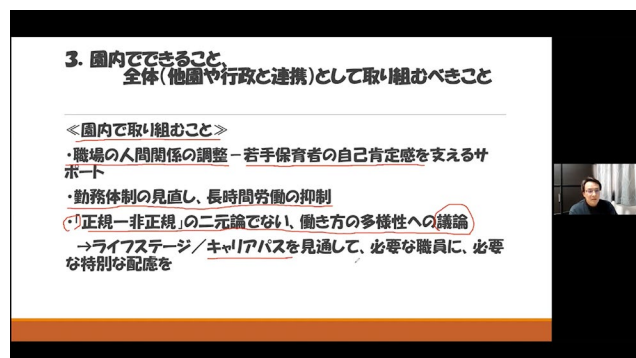


◆ 管理職者向け

タイトル：「人材マネジメントと採用戦略づくり」

講座概要：

働きやすい保育職場の条件とは？ 保育士が働き続けたいと思える魅力ある地域づくりに向け、人間関係や賃金、休暇、人員配置など、行政が先導し、地域ぐるみで人材確保・研修・育成の連携をすべきと提言した。



1-3. 保育者のためのスキルアップセミナーの開催

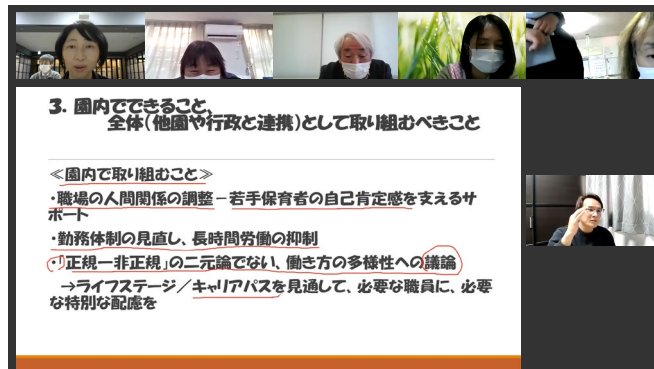
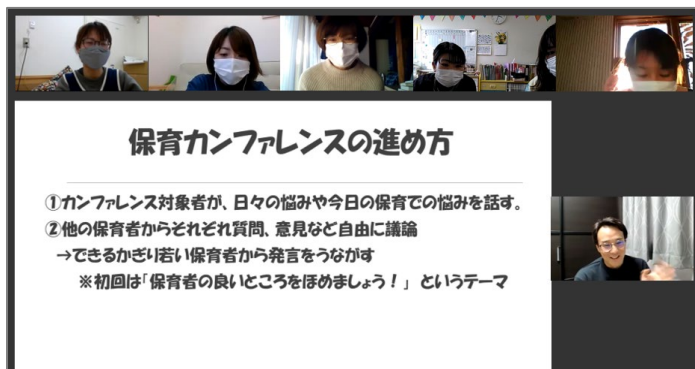
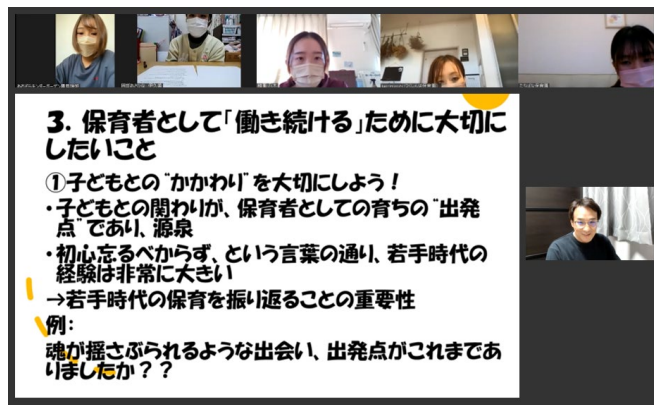
2) お申し込み・参加状況

3日間の参加申し込みは44名だった。当日参加が3名あり、合計45名が参加した。

申込数	3日間合計：44名 【若手】2022年1月28日（金）：10名 【中堅】2022年2月2日（水）：15名 【管理職】2022年2月3日（木）：19名
当日参加者数	3日間合計：43名 【若手】10名（キャンセル：0名 当日参加：0名） 【中堅】15名（キャンセル：2名 当日参加：2名） 【管理職】18名（キャンセル：2名 当日参加：1名）
アンケート回収	Googleフォームにて実施 29名／43名（回収率 67%）

3) 当日の様子

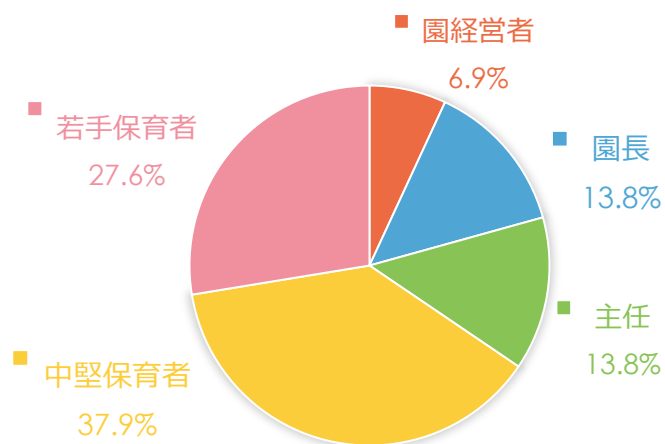
主催者挨拶から始まり、黒澤先生による講義と参加者同士のディスカッションが行われた。進行は、（株）サンロフトの鈴木が担当した。参加者が全員オンラインを希望したため、3日間とも会場はホストのみとなった。3日間とも参加者全員が発言する機会を設け、2・3日目の中堅・管理者向けのセミナーの冒頭では、それまでのセミナーの振り返りも共有した。



1-4.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

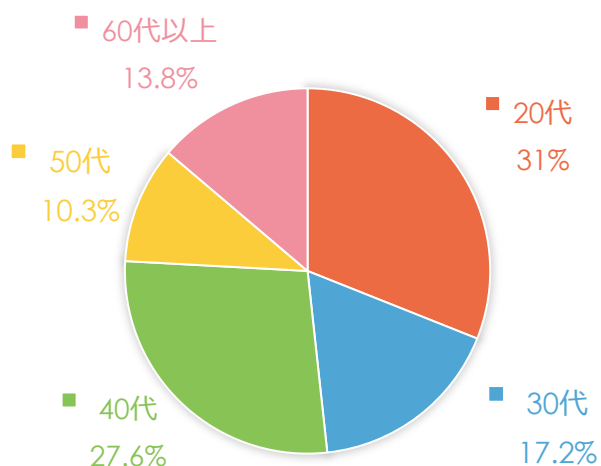
4) アンケート集計結果

1-1.あてはまる属性をお選びください。（属性）



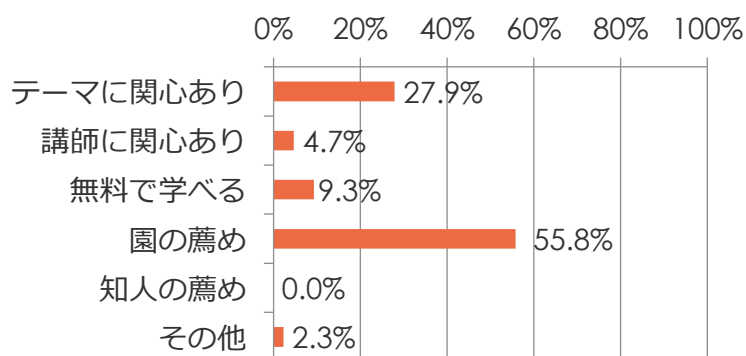
項目	人数 (人)	割合 (%)
園経営者	2	6.9%
園長	4	13.8%
主任	4	13.8%
中堅保育者	11	37.9%
若手保育者	8	27.6%
事務	0	0%
合計	29	100.0%

1-2.あてはまる属性をお選びください。（年代）



項目	人数 (人)	割合 (%)
10代	0	0%
20代	9	31%
30代	5	17.2%
40代	8	27.6%
50代	3	10.3%
60代以上	4	13.8%
合計	29	100.0%

2.本セミナーの参加動機として該当するものはどれですか？（複数回答可）



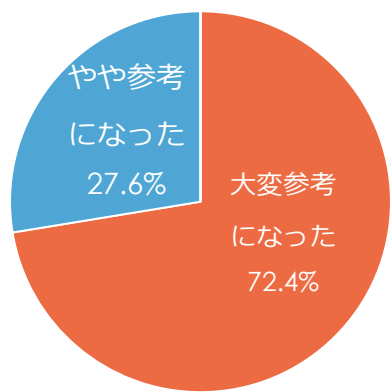
項目	実数 (人)	構成比 (%)
テーマに関心あり	12	27.9%
講師に関心あり	2	4.7%
無料で学べる	4	9.3%
園の薦め	24	55.8%
知人の薦め	0	0.0%
その他	1	2.3%

【その他】 市の主催であるから

1-5.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

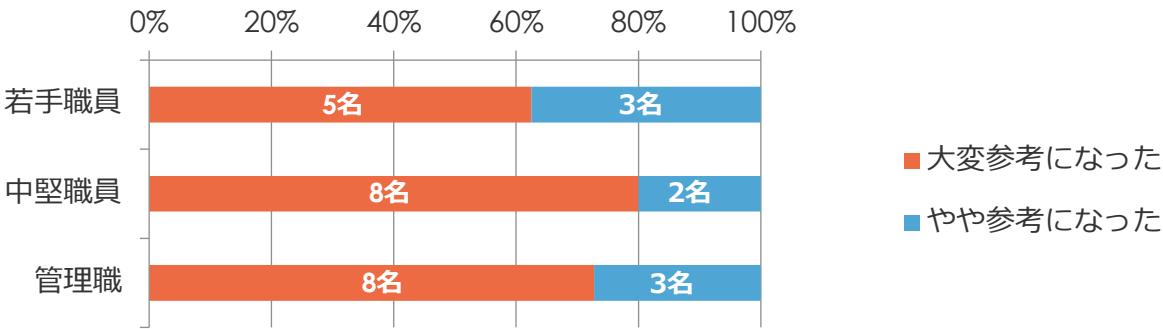
3.本セミナーはいかがでしたか？

受講者は「大変参考になった」が72.4%、「やや参考になった」が27.6%と、回答者全員がセミナーを有意義と感じた。



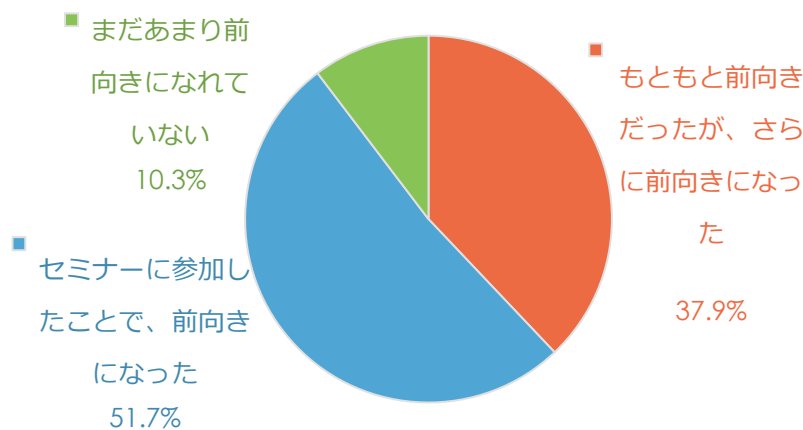
項目	人数 (人)	割合 (%)
大変参考になった	24	72.4%
やや参考になった	9	27.6%
あまり参考にならなかった	0	0%
参考にならなかった	0	0%
合計	36	100.0%

◆ 対象別 セミナーに対する満足度



4.セミナーへの参加を通して、職場の環境改善や働き方の改革に前向きになりましたか？

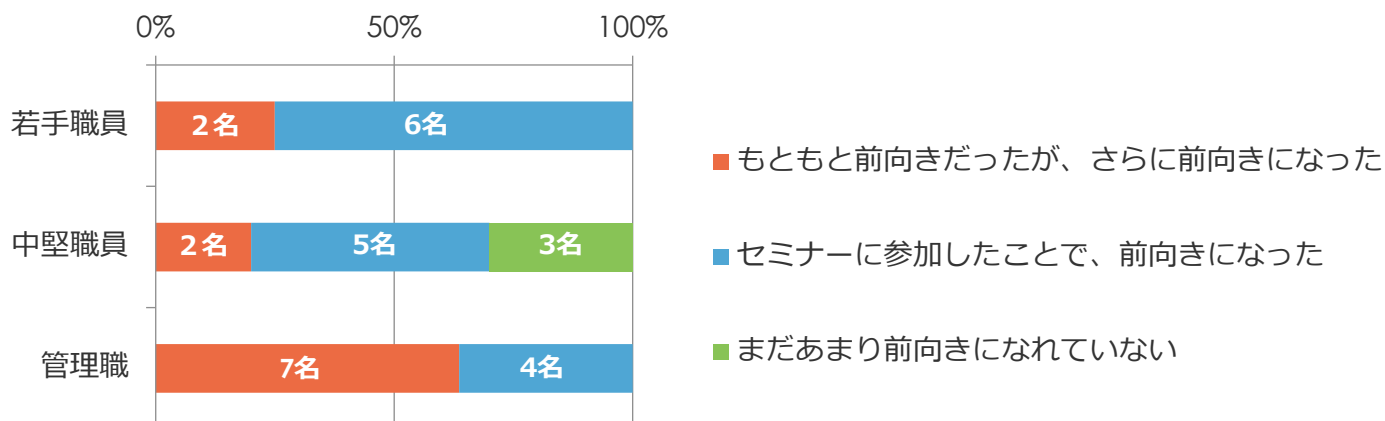
「もともと前向きだったが、さらに前向きになった」が37.9%、「セミナーに参加したことで、前向きになった」が51.7%で、89.6%の受講者がセミナー参加後、職場の環境改善や働き方改革に「前向きになった」と回答していた。



項目	人数 (人)	割合 (%)
もともと前向きだったが、さらに前向きになった	11	37.9%
セミナーに参加したことで、前向きになった	15	51.7%
まだあまり前向きになれていない	3	10.3%
合計	36	100.0%

1-6.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

◆ 対象別 セミナー参加を通じた気持ちの変化



5. 黒澤先生の講義において、心に残ったことは何ですか？

● 若手職員の感想

- 待つことが大事。子どもを待つという言葉が印象に残り、大人の都合で子どもを急かすことがないよう、待つことを心がけていこうと思いました。
- 保育士として子どもに関わるということが、その子にとって心の拠り所になり、大切な存在になること。
- 保育士という仕事がその人の人生そのものであるということ。そこまで深く考えたことがなかったので、心にすごく刺さりました。
- 子ども対子どものかかわりはもちろん、保育者対子どものかかわりが大切ということ。改めて、自分のかかわりが子どもにとって、とても大きなものになるのだと感じ、一人ひとりにゆっくり丁寧に寄り添っていきたいと思いました。
- 日々の保育の中で振り返りを行ったり、自分から他の先生と意見やエピソードを共有していくことが大切になっていくんだなと感じました。
- 先生が大学生の頃に経験されたお話がとても印象に残りました。私自身シングルマザーということも重なり、子どもの本心を聞き出すのは信頼関係を築いていないと難しいと感じました。

※ 一部抜粋

1-7.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

● 中堅職員の感想

- 人を知ることで、その人の保育を知ることにつながるということです。
- 保育者も子どもと同様で怒られてばかりでは育たない。若手保育者の良いところを見つけたり、悩みを聞く機会を作る。（保育カンファレンス）
- カンファレンスをすることで若手職員の仕事に対する自信がつき、職員間のコミュニケーションも取れることがわかりました。普段はなかなか話し合う機会がないので、意図的に計画していけたらと思いました。
- 保育者は自信を顧みることによって専門性を高めていく職業である、という内容。私自身が自己否定が強いいため常に大きい不安を抱えながらの保育となっている点に気づけた。
- 先生ご自身のお話を交えて説明して下さったことで、人としてどうありたいと思うか、働き方をどのように変えていけばよいか、心に響くものがありました。保育は保育者その人の生き方、という言葉が心に残りました。生い立ちや生活環境がその人自身を作っているものであって、そのことを理解して関わるのが大事だと気付きました。
- 今まで保育の内容や子どもに関わる研修を積極的に受けていましたが、働く環境づくり、職場の人間関係づくりについて学ぶことができ、人と関わり育ちあっていくことは、大人であっても子どもであっても同じこと、保育園の大事な仕事のひとつだと気づかされました。そして今まで当たり前だと思っていた働く環境について、発信して変えていこうという力を、保育者側が持つことの大事さも学びました。中堅保育士として、力を発揮する場面が、保育以外にもあることがわかり、仕事に対しての意欲が増したように感じました。

● 管理職の感想

- 若手保育士は適度なゆるさ、安定、調和を求めている事。若手は声を出せないから、不安を聞く場所を作る。やってみたいと思います。
- 理想の保育園状況が分かりました 近づけるよう努力します。
- 多様な働き方、多様な雇用契約があってよいこと。センター保育・連携保育の考え。
- 学生さんの思いが自身のころとは違っている。データ化して提示して下さると自身で考える部分も多い。若い方の肯定感を支えながら育てる。本人に育つ気になってもらう。そこに寄り添うしかない。これにつきるなあと感じた。
- 働いている保育士もそれぞれなので、それぞれの意見を出し合ってチームワークを高めていく事が大事であること。
- 若い職員の自己肯定感を認めて、寄り添ったり育てることが大切。
- 園の苦勞 行政としての配慮。

1-8.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

- 職員が働き続けられるよう創意工夫をしていきましょう
- 働き方改善していきたい
- 一人ひとりが輝くために、子どもも大人も人権を守っていくことが大切と改めて感じる事ができました。
- 園を越えた連携、働き方の多様性等の議論の必要性

6. ワークショップにおいて、どんな気づきがありましたか？

◆ 若手職員

- 子どもの何気ない言葉や成長に携われるこの仕事はとても重要な仕事
- それぞれ様々な気づきがあること、同じような経験でも自分では思いつかなかった考えがあることを改めて感じ、それを共有することは大切だと感じました。
- 様々な悩みを知ることができたり、似たようなことで悩んでいた子どもたちの成長の嬉しさを共有できよかったです。コロナ禍となり急に休みを取っても保育が回るようにして欲しいという意見にとっても共感できました。
- 否定的な言葉掛けをしてしまうというお話がありましたが、私も同じ経験があるので、子供の置かれている状況や気持ちに寄り添った言葉掛けを心がけたいと思いました。

◆ 中堅職員

- 皆さんと悩みを共有できることでホッとしました。他園の先生とお話して情報を共有できると、違う場所においても仲間ができたようでうれしく感じました。
- 他園の保育者から悩みや現状を聞くことができ自園や自身を客観的に考えることができた。
- 新人の頃の話をしてくださった先生から、話していいよと言われても、話しづらいことがあった、とお話を聞いて、悩みを打ち明けてもらう存在になるには、こちらの働きかけや信頼関係が必要だったことに気が付きました。
- 発言をすることは勇気いることですが、順番に発言していくことによって、自分の意見を伝えることができたり、講師の先生と直接対話ができているような感覚で、大人数で大きな会場での講義よりもとても内容の濃いものになったように思います。

1-9.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

◆ 管理職

- 休憩時間が取れないと言っていないで、実際取れている園に方法を聞いて実行したい。
- 様々な形態の園があり、それぞれが課題のある中で努力している事。研修や交流の必要性。
- 資格の有無で、求人の集まりが違うのは当然だが、様々な支援形態を利用できること。コミュニケーションや場作りの大切さを改めて感じました。
- 子どもも先生も楽しい職場は働きやすい。
- 改めて、みなさんと共有したことで、再認識したり、新しい学びがありました。
- 若手も意見を出しやすい雰囲気づくり。休憩時間の確保について園内で考えたいと思う。

7. セミナー全般のご意見・ご感想、今後のセミナー企画のご要望をお聞かせください。

- 園に同期もいなく、悩みや楽しさを共有できる場所が無かったので、とても嬉しかったです。経験の長い先生たちと話すのもとても勉強になるけれど、同じ年代や経験のある先生方と話す時間をまた作ってもらえたら嬉しいです。
- コロナ渦で他園との交流がないため、ディスカッションがあったのが大変良かった。グループに分かれての話し合いの時に、zoomに慣れておらず、進め方もうまくできず時間が足りなくなっていました。進行役を決めてもらえると話しやすかったかもしれません。
- 働きやすい職場、環境について、今まで仕方ないとあきらめていたことが多かったので、このような機会をきっかけに、意見を出していいのだということ、意見を出して受けいれてもらえる場があるとよいと感じました。
- こども園、保育園、幼稚園の垣根を越えて幼児教育、を広めていける研修があれば嬉しいです。
- 同じ分野の内容のセミナー、黒澤先生のセミナーをまた受けてみたいです。
- 飛び入り参加させていただき、ありがとうございました。リモートの良さを実感しました。
- 市役所の方が参加しているというのも働きやすい職場づくりを援助したい、という思いが感じられ少し心強かった。
- 行政と共に小規模保育所から広範囲に意見を伺う場は、初めてです。もっと参加者が多いといいですね。藤枝市が住みやすい所に継続出来るようみなで力を併せられる企画を是非お願いいたします。
- 保育士のスキルアップ研修を増やし、長く仕事を続けていける環境や補償の改善に繋げてほしい。

1-10.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

- 市への意見になってしまうのですが、コロナの濃厚接触者などでやむ終えなく休むときには有給ではなく、特別休暇などの制度をどの園でも作ってほしいです。
- 保育士という職業がこんなにも素敵なものだ、他の先生方のお話も聞いて改めて思いました。まだまだ駆け出しの若手保育士ですが、もっと先輩保育士、他園保育士さんから学びになることを吸収していきたいなと思います。
- 自分の働き方・人生を見直すことができました。
- 若手が気持ちよく働けるために自分ができることをしたいと思いました。保育者同士が良い関係を築くことで子どもとも良い関係を築くことができると思いました。保育園によって制度が違うことは黒澤さんの仰ったようにどの園も同じでないといけない、同じであって欲しいと思いました。
- 黒澤先生が保育現場の大変さや仕事の続けにくさを理解してくださっていることをとても心強く感じました。職場環境を良くしていくことに対してまた相談したいです。
- たくさんの気づきをいただき、参加して本当に良かったと思いました。これまで、自分の知識を伝えながら、気付いてほしい、付いてきてほしい、と願って動いていましたが、押し付けるだけでは人はついてこないこと、まずは、相手を理解して話せる環境づくりから、人との信頼関係が気付けることに気づかされました。職員集団を作っていくのも仕事の一つ、という言葉に、今日学んだことを生かしながら職員の関係を作っていくことに力を尽くしたいと思いました。

※ 一部抜粋

2-1.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

1) ふじえだ保育のおしごと交流会の企画・運営

保育者人材の採用をテーマに、藤枝市内の園関係者と、保育職場に興味がある人との気軽な交流の場として、2日間のイベントを企画した。交流会に先立ち、1日目は園関係者が集まり、保育現場が求める人材と近年の学生像とのギャップをどのように埋めていくのか、ディスカッションを交えながら、交流機会の活かし方について学ぶ勉強会として開催。2日目の交流会は、園と将来保育の仕事に就きたい人が、お互いの疑問や想いを知る対話の時間として、ディスカッションをメインに構成した。これにより、両者が接点を持ち、今後の採用・就職活動につながる情報交換の機会となった。

開催日	2022年3月25日（金）、2022年3月29日（火） 13:30～16:30（Zoomオープン 13:15～）
開催場所	オンライン（Zoomミーティング） ※ホスト会場は、サンロフトスタジオそらいろ ※園関係者は各園から参加 ※学生などの参加者は、自宅または大学などから参加
主催	藤枝市健康福祉部子ども未来応援局児童課
対象	・藤枝市内の保育園・幼稚園・認定こども園・小規模保育所等 ・学生、潜在有資格者、子育て支援員等、保育の仕事に興味がある方（保育関連資格がなくても参加可）
参加費	無料
テーマ	ふじえだ保育のおしごと交流会～お互いを知り、育ち合おう！～
講師・ファシリテーター	永田恵実子 先生 静岡福祉大学 子ども学科 教授
プログラム	・3月25日（金）勉強会 13:30～13:40 （10分）主催者挨拶・趣旨説明 13:40～13:50 （10分）グループディスカッション 13:50～14:05 （15分）課題の全体シェア 14:05～14:35 （30分）ミニ講義 14:35～14:50 （15分）質疑応答 14:50～15:00 （10分）29日についての連絡事項・アンケート ・3月29日（火）交流会 13:30～13:40 （10分）主催者挨拶・趣旨説明 13:40～14:00 （20分）各園による紹介・学生自己紹介 14:00～15:00 （60分）グループディスカッション（20分×3グループ） 15:00～15:20 （20分）全体での感想共有 15:20～15:30 （10分）連絡事項・アンケート

2-2.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

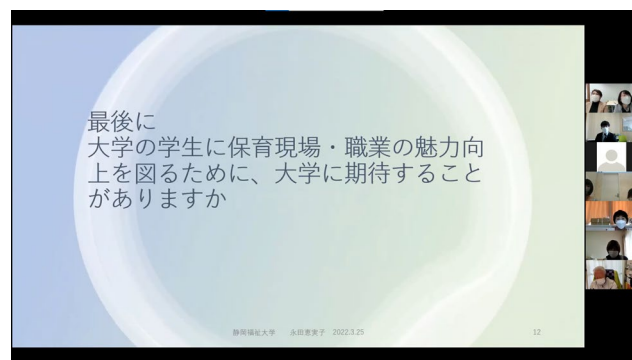
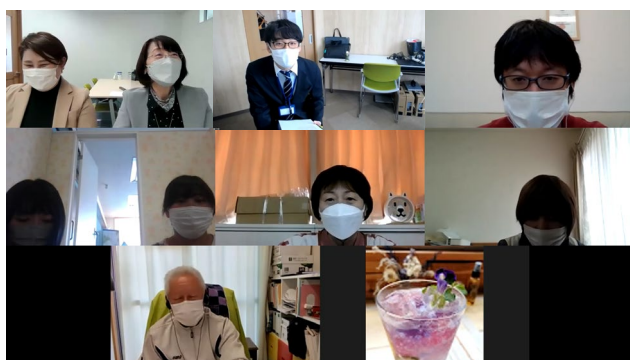
2) 集客

項目	実施内容	件数
チラシ配布	県内大学・専門学校への案内郵送	14校×5部ずつ
個別案内	お付き合いのある養成校関係者にチラシの個別配布・メール・電話フォロー	適宜
Webサイト	「enjobふじえだ」のお知らせ掲載	1回
メール	「enjobふじえだ」登録者への連絡	(児童課様経由)
メール	子育て支援員研修受講者への連絡	(児童課様経由)

3) イベントの様子

● 25日の様子

主催者挨拶から始まり、永田先生によるミニ講義と参加者同士のディスカッションが行われた。全体進行は弊社の鈴木が担当した。市内各園の園長・採用関係者が近年の学生の想いや考え特徴などを講師から学ぶとともに、これからの人材との関わり方について意見交換をした。



● 29日の様子



全体での園紹介や自己紹介の後、永田先生のナビゲートのもと、「学生が園を訪問した時に見るポイント」や「就職したくなる園とは?」「学生に見てほしい園のいいところ」などのお題に対し、1グループあたり1園、4～5名に分かれて意見交換。20分間のディスカッションを3回行った後、全体での感想共有をした。

2-3.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

4) 参加お申し込み・開催成果

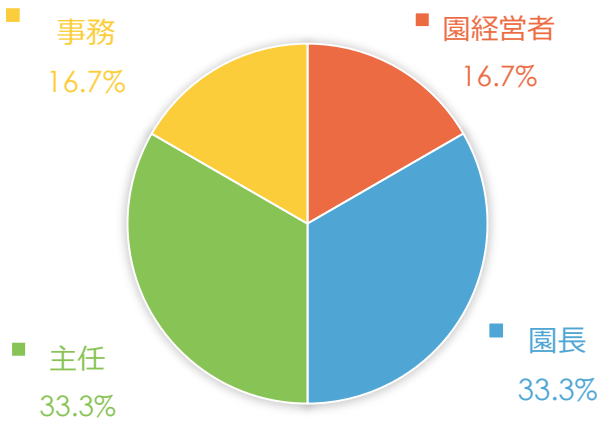
25日の交流会は園関係者9名が申し込み、6名が参加した。29日の交流会への申し込みは園関係者8名、参加者は11名あったが、最終的に16名が参加した。

申込数	3月25日（金）交流会：園関係者9名 3月29日（火）交流会：園関係者8名、参加者11名
当日参加者数	3月25日（金）交流会：園関係者6名（キャンセル3名） 3月29日（火）交流会：園関係者3園5名（キャンセル：4名、当日参加：1名）、参加者11名
アンケート回収	Googleフォームにて実施 3月25日（金）交流会：6名／6名（回収率 100%） 3月29日（火）交流会：12名／16名（回収率 75%）

5) アンケート集計結果

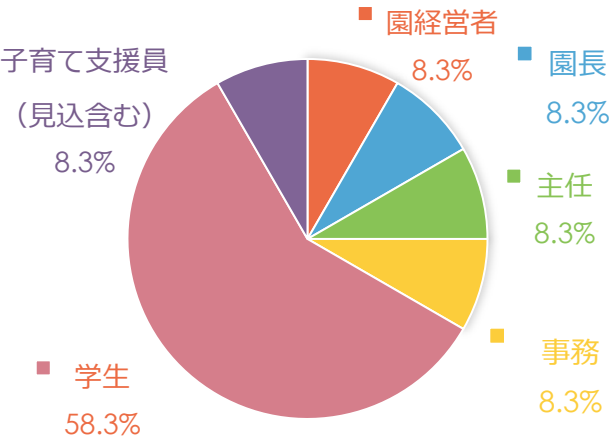
1-1.あてはまる属性をお選びください。（属性）

◆ 25日交流会



項目	人数 (人)	割合 (%)
園経営者	1	16.7%
園長	2	33.3%
主任	2	33.3%
中堅保育者	0	0%
若手保育者	0	0%
事務	1	16.7%
合計	6	100.0%

◆ 29日交流会



項目	人数 (人)	割合 (%)
園経営者	1	8.3%
園長	1	8.3%
主任	0	8.3%
中堅保育者	0	0%
若手保育者	1	0%
事務	1	8.3%
学生	7	58.3%
子育て支援員 (見込含む)	1	8.3%
合計	12	100.0%

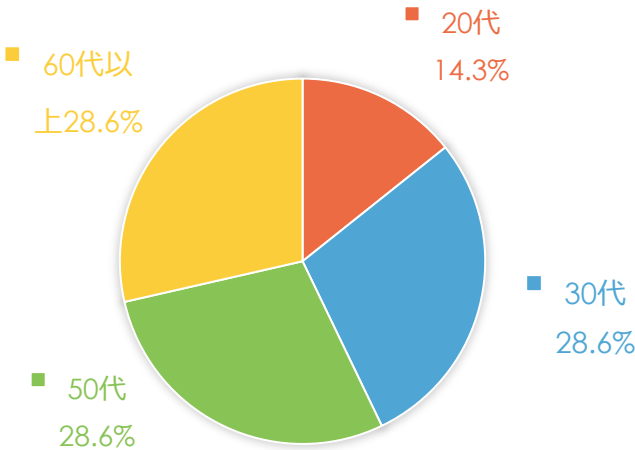
2-4.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

※2園から複数名の参加があり、設問によっては回答が分離・集約されています。

1-2.あてはまる属性をお選びください。（年代）

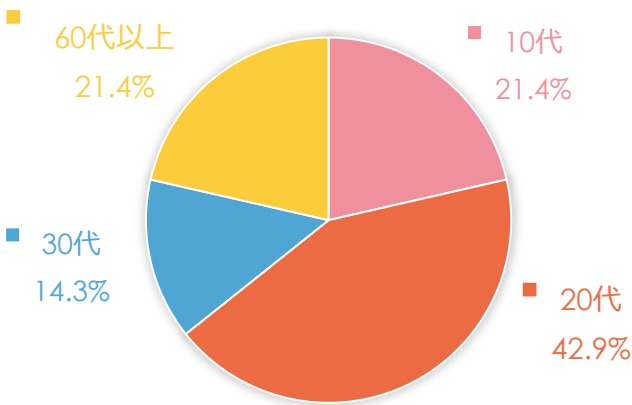
※複数選択

◆ 25日勉強会



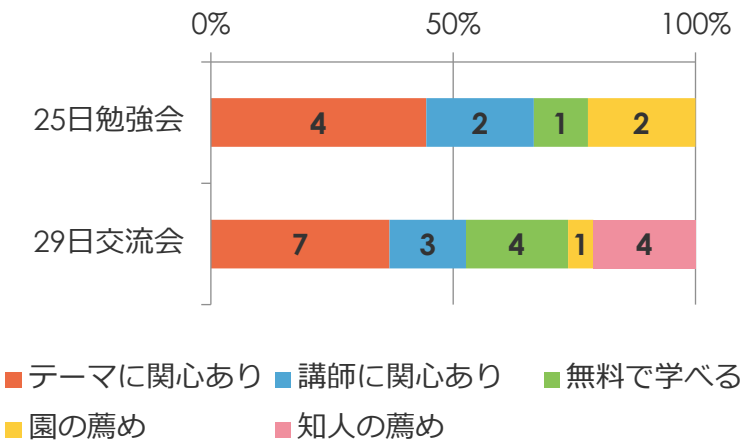
項目	人数 (人)	割合 (%)
10代	0	0%
20代	1	14.3%
30代	2	28.6%
40代	0	0%
50代	2	28.6%
60代以上	2	28.6%
合計	7	100.0%

◆ 29日勉強会



項目	人数 (人)	割合 (%)
10代	3	21.4%
20代	6	42.9%
30代	2	14.3%
40代	0	0%
50代	0	0%
60代以上	3	21.4%
合計	14	100.0%

2.本交流会の参加動機として該当するものはどれですか？（複数回答可）



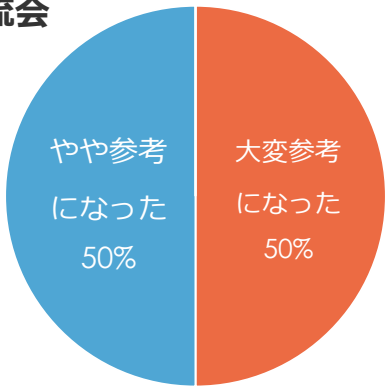
項目	実数 (人)	構成比 (%)	実数 (人)	構成比 (%)
テーマに関心あり	4	44.4%	7	36.8%
講師に関心あり	2	22.2%	3	15.8%
無料で学べる	1	11.1%	4	21.1%
園の薦め	2	22.2%	1	5.3%
知人の薦め	0	0%	4	21.1%
その他	0	0%	0	0%

2-5.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

3.本交流会はいかがでしたか？

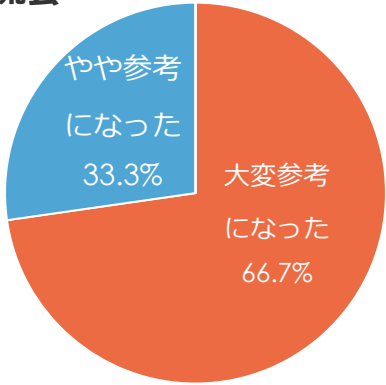
25日の交流会では、「大変参考になった」「やや参考になった」がともに50%、29日交流会でも「大変参考になった」が66.7%、「やや参考になった」が33.3%と、回答者全員がセミナーを有意義と感じた。

◆ 25日交流会



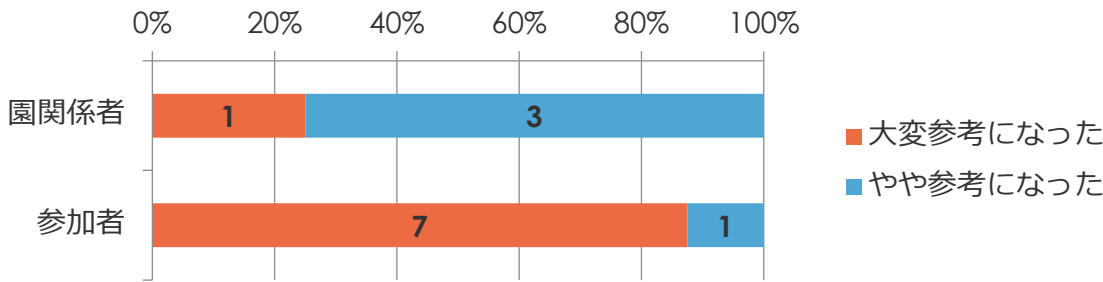
項目	人数 (人)	割合 (%)
大変参考になった	3	50%
やや参考になった	3	50%
あまり参考にならなかった	0	0%
参考にならなかった	0	0%
合計	6	100.0%

◆ 29日交流会



項目	人数 (人)	割合 (%)
大変参考になった	8	66.7%
やや参考になった	4	33.3%
あまり参考にならなかった	0	0%
参考にならなかった	0	0%
合計	12	100.0%

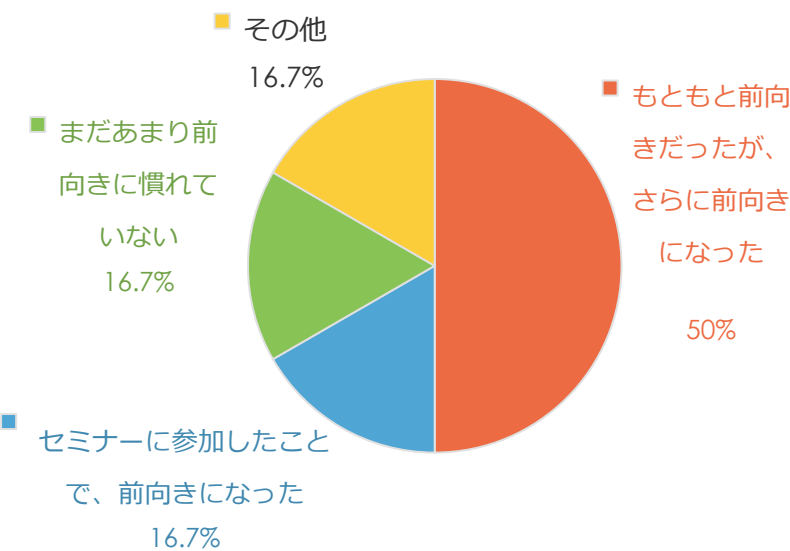
◆ 29日交流会 対象別セミナーに対する満足度



2-6.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

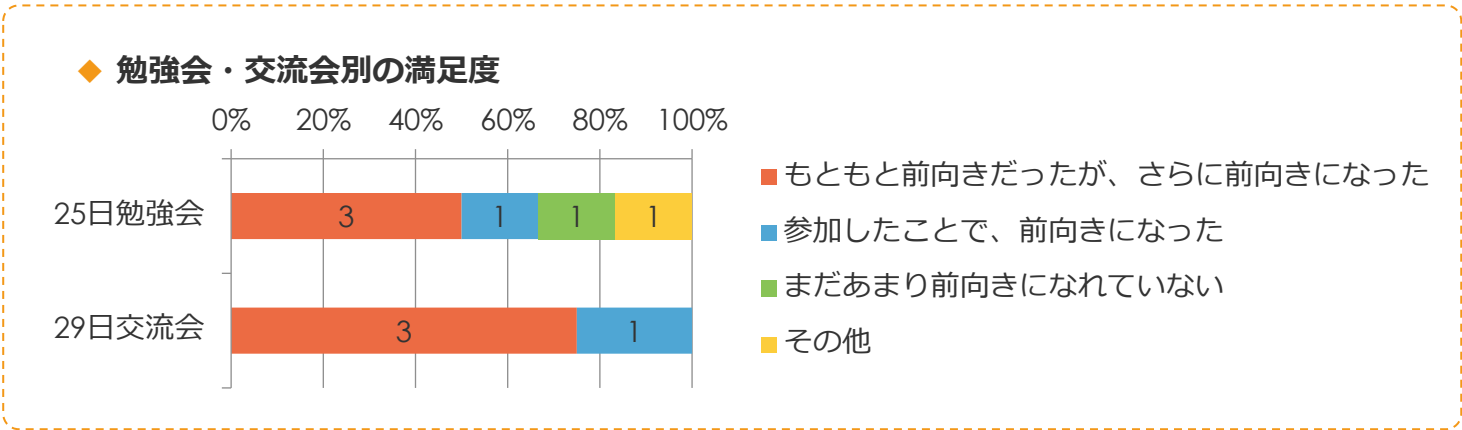
4.セミナーへの参加を通して、職場の環境改善や働き方の改革に前向きになりましたか？

「もともと前向きだったが、さらに前向きになった」が60%、「セミナーに参加したことで、前向きになった」が20%だった。職場の環境改善や働き方改革に対して、積極的に取り組みたいと思っている受講者が本交流会に参加していた。

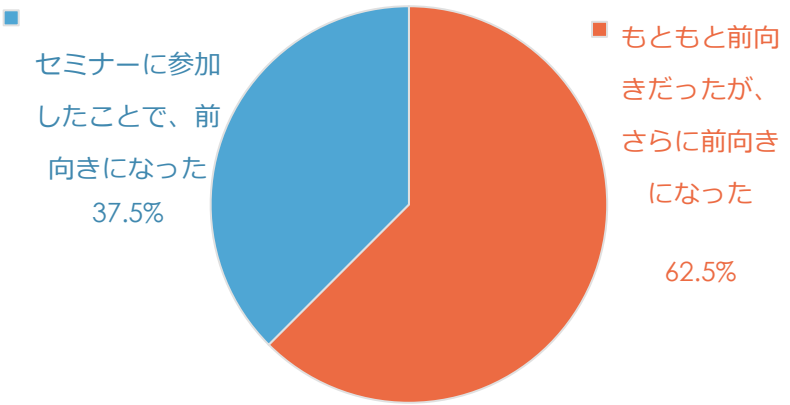


項目	人数 (人)	割合 (%)
もともと前向きだったが、さらに前向きになった	6	60%
セミナーに参加したことで、前向きになった	2	20%
まだあまり前向きに慣れていない	1	10%
その他	1	10%
合計	10	100.0%

【その他】 昨今、取り組んでいる



5.交流会への参加を通して、保育職場での就業に前向きになりましたか？



項目	人数 (人)	割合 (%)
もともと前向きだったが、さらに前向きになった	5	62.5%
セミナーに参加したことで、前向きになった	3	37.5%
まだあまり前向きに慣れていない	0	0%
合計	8	100.0%

2-7.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

6. 交流を通じて、気づいたこと、心に残ったことは何ですか？

◆ 25日交流会（園関係者）

- 学生たちの心持について 学生たちの学んでいる事
- コロナの中、なかなか大学側も外へ出すのに難しい点があるのかと考えていましたが、永田先生の、どんどん行かせたいという声を聴く事が出来てこちらも前向きに考えていきたいと思いました。貴重なお時間ありがとうございました。
- 大学生に対してこんなにも熱心に指導しなければいけない、育たない現代の学生に驚きました。理論ばかりではなく、指導を素直に受け止めることが一番の成長できる秘訣ではないかと思います。
- 保育者に必要とされる8つの研修
- 子どもたちや学生の事をよく考えてくれていると感じました。保育の現場へいまから出来ること一緒に考えてください。よろしくお願い致します。
- 実習生を温かく迎えているが、もっと学生のためにやらなくてはならないことがあることに気づいた。

◆ 29日交流会（園関係者）

- 学生のみなさんが一人一人意見を持っている所がとても良かったです 参加者の中には1年生でものすごい知識をもっている学生の方もいたため大変驚きました 知識を多く蓄えているので実習という経験値を得る事で本当に良い保育士になってくれるのではないかと期待しています。
- 学生の皆さんが意欲であった。その熱意に応えられるように園としても努力していきたい。
- コロナの中で実習になかなか行けない分、人間関係が不安に思っている学生が多いように感じました。やはり実際に現場に出て見ないとわからない点ではあるので見学だけでも結構ですので声をかけていただけたらと思います。

2-8.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

◆ 29日交流会（参加者）

- 子どもは大人のことをよく見ているため、親権に取り組むことが大切だと気付けた。
- 大切なことは、子どもを好きであり、愛情と熱意があること。保育者が楽しいのであれば子どもたちも楽しい環境で居ることができ、将来子どもたちの中に楽しい思い出が残っていくから、それを大切にすること。
- どの保育者の方も子どもの成長を第一に考えより良い保育を行えるようにしていることがわかりました。
- 笑顔、挨拶なども大切なポイントだということや、それだけでもいけないんだということなどのお話を伺い、保育者の責任を再認識すると同時に、よりこの職業の面白さや奥深さを知ることができました。
- 今回参加してくださった3つの園の先生方は本当に子どもたちのことを第一に考えて、やりがいをもって仕事をしていると思いました。
- 先生方のお話を聞いて、元気で挨拶をすることが大切だと思いました。
- ただ大学で保育や教育について学ぶのではなく、1芸ではないですが外国語を1つでも使えるように勉強したり、こんなことできたら何か役立つかも、と思うことも自ら学び、身に着けていくことが大事だと改めて気づきました。園の方の話し方、聞き方が心に残りました。学生同士の会話では感じられない話しやすさ、聞きやすさを感じました。

※ 一部抜粋

2-9.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

7. 交流会全般のご意見・ご感想、今後の事業企画のご要望をお聞かせください。

◆ 25日交流会（園関係者）

- 共通の具体的な課題項目が事前に用意できれば討論がしやすい。
- 事前アンケートで困っていること、話したいことなどもらってください。
- 思ったより参加者が少なかった。正直私も申し込みはしたが時期的にとっても忙しかった。

◆ 29日交流会（園関係者）

- ありがとうございます。様々な学生と交流を持ちたいのでまた機会があればぜひお願いいたします。
- もう少し大勢の方が参加できるとよいと考えます。
- 今回は貴重な時間を頂き、ありがとうございます。また宜しくお願い致します。

◆ 29日交流会（参加者）

- とても貴重な時間でした。ありがとうございます。
- 実習ではなかなか質問できないようなことを教えていただいたり、実習で見ておくといポイントやどのような人材が求められているのかなど学ぶことができてよかったです。貴重なお話が聞けて学びになりました。ありがとうございます。
- 今回お話をしていただいた3園はどこもとてもラフな環境で質問や、思っていることを聞きやすい体制にしていたので、よりたくさんのことを学ぶことができました。
- 今回貴重なお時間を頂き、たくさん学ぶことができました。それぞれの園によって方針が違っていただけですごくいい経験になりました。今回学んだことを今後の生活に役立てたいと思います。今回はこのようなお時間を作ってください本当にありがとうございました。
- このような場を設けてくださり、ありがとうございます。皆様のご都合もあるかとは思いますが、コロナ過で実習を行えていないこともありますので、今後も交流の場を設けていただけたらと思います。
- 本日は、本当にありがとうございました。

※ 一部抜粋

3-1.事業総括と次年度に向けた計画（案）

前年度までの事業成果を踏まえ、今年度も「園と働きたい人をつなげる支援」をテーマに事業を実施した。イベントについては、対面式での大きなイベントは開催できず、当初の企画どおりに開催できなかったことは残念だった。ただ、オンラインでのつながりは維持できたこと、かつ、各園もオンラインに対応するための環境整備や操作に慣れる機会は増え、当初からハイブリッドを想定した「withコロナ時代」の新しい事業展開を実証実験することができた。ご理解・ご協力をくださった関係者の皆さまに、心より感謝申し上げたい。以下に事業の総括をまとめた。

● 保育者のためのスキルアップセミナーの開催について

黒澤先生が京都のご自宅からオンラインで講師を務めてくださった。参加者も全員がオンラインを選択された。コミュニケーションの深まりとしては対面に勝るものはないが、忙しい先生方だからこそ、Zoomでのセミナー参加も選択肢として用意することは今後も大切だと感じた。また、保育者同士が雑談をしたり、他の園と交流したりする機会が減っており、それを補う機会になった。日頃、子どもたちや保護者のために自分の時間を費やす先生方が、自分たちのことを考えたり話したりする場をつくることの重要性を感じた。スキルアップを主体的に推進するためにも、こうした時間を今後も事業の中で創出していきたい。

● 潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催について

対面でのバスツアーや就職相談会の開催が難しい状況となり、あらためて園の採用活動をどのように支援するべきかを考えているとき、静岡福祉大学の永田教授から養成校側の事情を学ぶ機会があった。そこで、園と学生とがお互いをもっと知るための時間が必要だということに気づき、「ふじえだ保育のおしごと交流会」としてイベントを開催することとした。また、学生との交流会に先立ち、園関係者のみで永田先生と意見交換をする場を設けることで、学生との交流会に臨む準備をしていただくことができた。オンライン開催となったが、enjobふじえだ登録者や子育て支援員研修参加者も交えて交流することができた。オンラインだからこそ、育児をしながら参加できたり、コロナ感染を気にせずに参加できたりするというメリットもあった。学生は、園を訪問する機会が減っていることもあり、就職活動をする前にできるだけ園との接点を増やす必要性がある。

● 次年度の展開案として

以上のような取り組みを実施したことにより、イベントやセミナーは当初からハイブリッドでの企画にて具体化することが望ましい。オンライン対応のためのシステムはいろいろとあるが、先生方が操作に慣れたZoomをベースに、その活用の幅を広げる機会とすることで、園が単独でイベントを開催するときにも役立つ。今年度、静岡福祉大学ともよい交流がスタートできたので、この流れを次年度につなげ、保育協会等の関連団体とも連携しながらスキルアップセミナーと採用関連イベントを有意義なものにするのが望ましい。

3-2.事業総括と次年度に向けた計画（案）

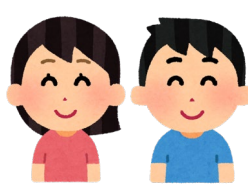
次年度も引き続き、「園と働きたい人をつなげる支援」をテーマに、これまでの資産を活かしなが
ら以下のような大きな流れをつくり、相乗効果をもたらすことができればと考える。

既存登録者や園を通じて
市内外の潜在有資格者に
呼びかけ登録を増やす

- ・オンラインイベント
 - ・SNSでの情報提供
- 等で育児中でもできる交流推進



潜在有資格者



学生

養成校への周知・登録を
あらためて呼びかけ
学生の登録を増やす

- ・地元の養成校へのPR
 - ・学生のenjob登録促進
- 等で集団での接点づくり強化

園のリアルな情報の提供

登録

案内

園との接点づくり

カモンワカモン等の
他サイトとの連携で
流入を増やす

伝え方のスキルアップ支援

- ・より丁寧な求人情報
(動画、職場づくりなど)



- ・動画などの採用コンテンツ制作
- ・オンライン説明会、面談の実施



保育者オンライン
コミュニティ「nanoty」

オンラインに慣れる場づくり

- ・職場づくりや採用活動についての情報交換
- ・オンライン化やICT活用のスキルアップ
(オンライン学習)

参加



園・保育者



enjobふじえだ

＊ ＊ オンライン ＊ ＊
(ネット)

- ・求人情報の確認
- ・オンラインガイダンス参加
- ・イベントへのオンライン参加



園と働きたい人の接点づくり

＊ ＊ オフライン ＊ ＊
(リアル)

- ・リアルイベント
- ・就職相談会
- ・園見学ツアーなど



・スキルアップセミナー

参加

スキルアップの場づくり

参加

人材との出会いの場づくり



採用のオンライン化を学
び、実践する機会をつく
り、活かしてもらう

子育て支援員研修等
他の事業とも連携